

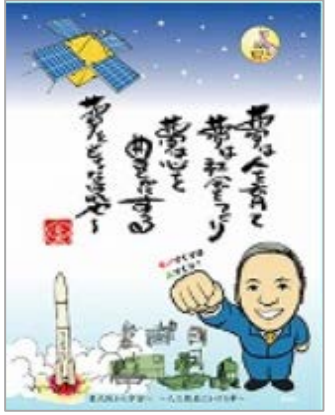
MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「夢」は人、社会、心を育てる

右掲は、東大阪で人工衛星「まいど1号」のプロジェクトを立ち上げた青木さんとBMWディーラー会長の楽笑こと田中会長の「遊書」を合体させてポスターです。楽笑師匠の書には、

「夢は人を育て、夢は社会りくつを、夢は心を豊るすにか、夢を持やれはなち～」と書かれています。このデザインは、青木さんと田中さんの共通の友人である弊社のお客様のご依頼で制作したもので、お客様を通してポスターを納入しています。

さて、この文言は、青木さんのお話から生まれた物です。青木さんのお話では、日本一の中小企業の街であった東大阪市もバブルがハジけた為に、工場が消えて行き街全体が勢いをなくして、ゴミが散乱するなど地域社会が崩壊し始めていたのです。こんな状況を見て、平成14年に青木さんの会社が音頭をとって「人工衛星」を打ち上げるとい事業組合を立ち上げて、平成21年に「まいど1号」を打ち上げたのです。この事業組合は、その後、2足歩行ロボットをJAXAの月探査機に載せて月面に送り込む計画が進行中との事です。



青木さんは、講演で、この事業が東大阪を活性化したと話されます。中小企業の街で、一つの目的の為に、いろんな技術を持つ企業が事業組合に参加して、自分の分担を果たそうというパワーが話題になり、マスコミにも取り上げられたり、当時の小泉首相は工場を見学したり、「まいど1号」と命名したりと政府が資金以外にも支援して盛り上げたのです。そして、「概念設計」を各社が持ち帰って、それを具現化するという中小企業ならではの物づくりが展開されて、「まいど1号」に必要な各種の技術が磨かれたと話されているのです。

その副次効果として、日本の各地から、あるいは、海外からの見学者が多数訪れたので、街の雰囲気を変

「5S」は社員の「やる気」のベースを醸成する！

わり、荒廃した雰囲気から活気が出て、治安がよくなり、さらに、ゴミがなくなるという美化まで進み、歯抜けになりつつあった工場閉鎖の流れが止まったとのことでした。

「5S」というのですが、工場では「整理、整頓、清掃、清潔、躰け」という5要素を重視されています。これら5つの「S」を現場で徹底されると「キレイになる」という事から、見学者が訪れるようになるのです。見学者が来て感心して、質問などで褒めてくれるので自ずから現場の方々のモラルがアップするのです。モラルがアップするから「5S」も楽しくなり、ますます、よい展開になるのです。例えば、改善工夫が始まり、動線のムダがなくなるとか物を大切に作る仕組みが出来てムダな在庫がなくなるという具合なのです。

「5S」⇒「キレイ」⇒「見学」⇒「やる気」⇒「創意工夫」⇒「楽しくなる」・・・と、どんどんレベルがアップするのです。この好循環が回ると皆が「素直」になり、コミュニケーションがよくなり、さらに、人の協力でパワーを倍化するのです。何よりも現場の方々がイキイキとしている姿は他に掛け替えないものです。

そして、青木さんは、社員に「誇り」が生まれると話されているのです。そのエピソードとして、ある居酒屋でのシーンを例にあげておられます。その居酒屋には、上場企業の社員も街の零細企業の社員も集まる場所なのですが、何かの時に、婚活の場になり、女性がいる中で、上場企業の社員は「〇〇の〇〇」と会社名と自分の名前を言うのですが、それまでの零細企業の方は、「〇〇をしている〇〇」と会社名ではなく仕事内容を言って名乗る傾向だったのが「アオキの〇〇」と会社名に誇りを持って自己紹介したという話です。

青木さんは、この話になるといつも目頭を熱くされて話されて、聞いている私たちも感動して、思わず目頭が熱くなるのです。仕事から会社を誇りになったという感動の話ですが、製造業以外でも参考になる話です。

ワンポイント・アドバイス

「会社」を誇りに思ってくれる社員って宝ですね。今回の「まいど1号」の話でも、見学者がくる国から資金だけではなく、首相までが見に来て励ましてくれるというのは大きいですね。私はお客様に「社員が家族を見学につれてくる会社にしましょう」と言っています。その第1歩は「整理・整頓・清掃」の3つからです。ご参考にして下さい。

